福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	性の多様性推進事業							事業コード	030101730338		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造			
	施 策 名	1 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進						施策コード	311		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室					所属長	林 慶也			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	105	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	第4次男女共同参画計画はばたきプラン2021			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市みんなの多様な性を尊重する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	男女共同参画推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和5年度に、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律が施行され、性的マイノリティに関する人権課題の理解増進に向けた取組が進んでいる。本市では、令和4年度からセミナーの開催（マジョリティへの啓発）、令和5年度からはセミナーに加えて交流会（性的マイノリティの居場所つくり）を実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 性的マイノリティに対する偏見や差別等は依然として存在しており、また、いまだ自身のSOGIに関して誰にも相談できずに悩みを抱え、周囲の人の無理解や偏見などから様々な困難を抱えている人がいる。そのため、市民への意識啓発と理解増進を図ることが重要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） すべての人が多様な性を認め合い、性別、性的指向及び性自認に関わらず、互いに人権が尊重され、個性と能力を十分に発揮するとともに多様な生き方を選択できるまちづくりをめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民を対象に性の多様性の理解促進となるセミナーの開催 ・当事者同士が安心して交流や仲間づくり、また当事者とLGBTを理解・支援する人（アライ）が出会う場となる性的マイノリティ交流会の開催 ・当事者を対象にした福知山市パートナーシップ制度の運用 ・6月のプライド月間に合わせての啓発展示及び啓発物品の配布

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施	☐ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	314	講師謝礼			
需用費	56	性の多様性啓発物品、講演会用演題印刷、消耗品			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	705	353	382	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		705	353	382	
予算財源内訳	① 一般財源	362	177	209	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	343	176	173	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 152	17		
	② 配当予算	553	370		
	③ 執行額	553	370		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.00	0.53 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	400	4,240		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		953	4,610		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	人権問題啓発事業補助金	民生費府補助金	185	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	－	－	－	70		
	主催するセミナー等に参加した人の性の多様性に関する理解度	目標値		－	－	－	70	80	
		達成度	%	―	―	―	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	－	－	7	6		
	主催するセミナー等のイベント数	当初見込		－	－	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・市民が多様な価値観を培えるよう、当事者の方を講師に招き市民を対象に講演会等を開催 ・性の多様性事業を進める上で、今後当事者に対し必要な支援や現状抱えている問題等について、当事者が参加する交流会の中で意見を募り課題発見につなげる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・令和7年度は、性的マイノリティ交流会を全4回（前年度4回）実施した。また、交流会に親しみを持ち、参加に対する抵抗感をなくすために「にじいろぶれんど」という愛称をつけた。参加者は合計のべ数24人で、当事者同士で繋がり、安心して思いを話せる場を提供することができた。また、新たな取組として第2回目の「にじいろぶれんど」において、幅広い年代層に多様な性についての理解促進を図れるよう、こどもから大人まで参加できる参加型イベントを開催した。その中で、当事者のこどもとその両親の参加もあり、ファシリテーターの方々に相談やアドバイスを受ける様子も伺えた。次年度以降も継続していきたいと考えている。 ・令和4年度よりパートナーシップ制度を開始し、利用者の転出入の負担軽減のため全国287自治体と連携を始めた。 ・令和7年７月に福知山で初めてのパートナーシップ制度の申請があり、１組２名のカップルの登録を行った。 ・令和7年度のセミナーは、市内在住の当事者とそのアライを講師に招き、時間帯と場所を変え全２回開催した。総参加者数は29人だった。
現状の課題に対する改善策	・性的マイノリティ交流会では市外からの参加者も多く、自分が住む地域ではないため参加しやすいとの意見もある。そのため、本市在住の当事者が参加しやすく、またより多くの当事者が交流できるよう近隣の市町や北部全体での協力が必要である。 ・性的マイノリティ交流会や性の多様性セミナーについては、広報の工夫や参加者が増える取組をしていく必要がある。 ・パートナーシップ制度の届出について、1件の登録があったが、より使用しやすい制度となるようサービスの改善や行政サービス以外の面で提供できるものを検討する。